

令和3年度研究成果報告会開催報告

2022年2月23日、今年度の研究成果報告会をオンラインで開催しました。昨年度の報告会もオンラインでしたが、今年度は猪苗代町体験交流館「学びいな」にて対面で実施する予定でした。しかし、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大によって、対面開催を中止し、オンライン開催に切り替えました。最初からオンライン開催を案内していた訳ではありませんでしたので、学外者の事前申込は昨年度よりも少ない27名の方から頂きましたが（発表者を除く）、当日は昨年度よりも多い42名の参加が学内外からありました。このうち24名が学外の方でした。また、裏磐梯サイトステーションには密にならない範囲で視聴者が集まって下さったそうです。学内からも磐梯朝日自然環境保全研究所のメンバーの研究室の学生・院生の参加が10名ありました。終了時間は予定時刻より40分延長となるなどアクティブなディスカッションができましたが、来年度こそは、地域の方をはじめとするいろいろの方との交流ができ、質疑応答の時間以外でも様々なご意見やご要望を頂ける対面での開催を目指したいと思います。ちなみに、来年度も順番としては猪苗代地域での開催の予定です。

今回は8題の報告がありました。昨年度の報告は教員のみでしたが、今年度は学生の発表が3題（ミヤマミズバチ、ヒメシロカゲロウといった水生昆虫の生態に関する研究、DNA解析に基づく裏磐梯や会津地方南部に生息するニホンジカの由来推定）、そして高校生による発表（福島県立福島高等学校の守谷和貴君による「磐梯山南麓における蝶類群集の構造と人為的環境への適応について」）が1題ありました（高校生の発表は「初」です）。生物系の発表が5題、水・環境系の発表が2題、計画系の発表が1題でした。川越先生による発表は裏磐梯エコツーリズム協会と共同で実施しているモニタリングの話題、総合地球環境学研究所の藪崎さんによる「磐梯山と周辺地域の地下水滞留時間の推定結果からみえてきたこと」は2012年から、黒沢先生による「裏磐梯の植物相の特徴と概要」は2004年から、川崎先生の「裏磐梯の来訪者に関する調査報告」は2014年からそれぞれ継続実施されてきた調査のまとめに相当する報告でした。報告者の皆様、お疲れ様でした。



守谷君（福島高校）による発表



斎藤君ら（兼子研）による発表